

淀川左岸線事業 WG からの報告

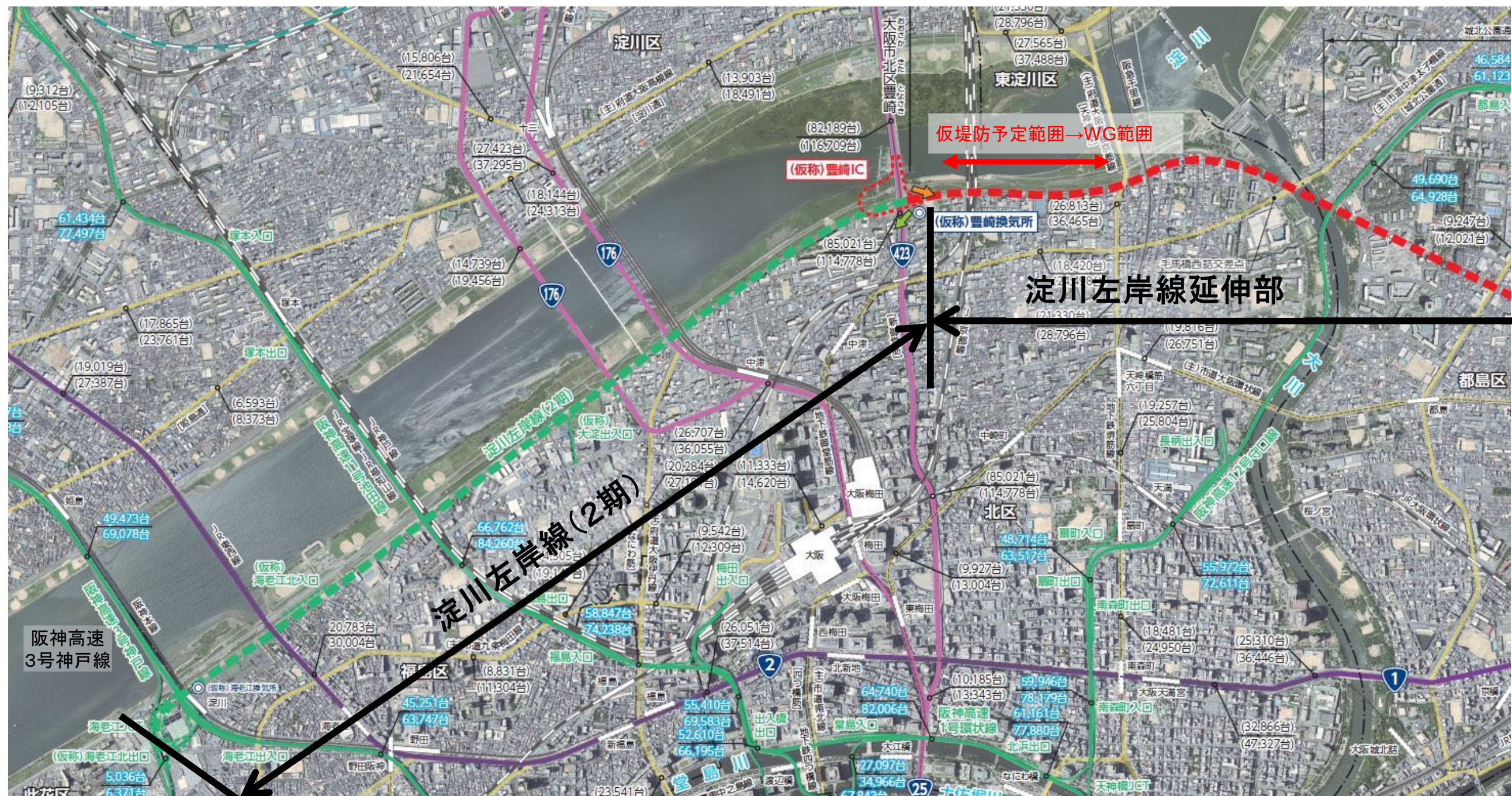
目次

1 淀川左岸線事業 WG（左岸線延伸部事業）からの報告	1
2 淀川左岸線事業 WG（左岸線 2 期事業）からの報告	2
・植物園における貴重植物の植替え	3
・オガルカヤ、カモノハシの播種等について	4

淀川左岸線事業WG(左岸線延伸部事業)からの報告

- 淀川左岸線延伸部事業と淀川左岸線2期事業等の淀川左岸線関連事業を指導・助言いただくことから、これまでの「淀川左岸線(2期)事業ワーキング・グループ」を、2024(令和6)年10月31日から「淀川左岸線事業ワーキング・グループ」として開催した。

	淀川左岸線(2期)	淀川左岸線延伸部
事業者	大阪市、阪神高速道路(株)	阪神高速道路(株)、国土交通省、西日本高速道路(株)
事業区間	阪神高速3号神戸線～国道423号(新御堂筋)	国道423号(新御堂筋)～近畿自動車道(門真JCT)

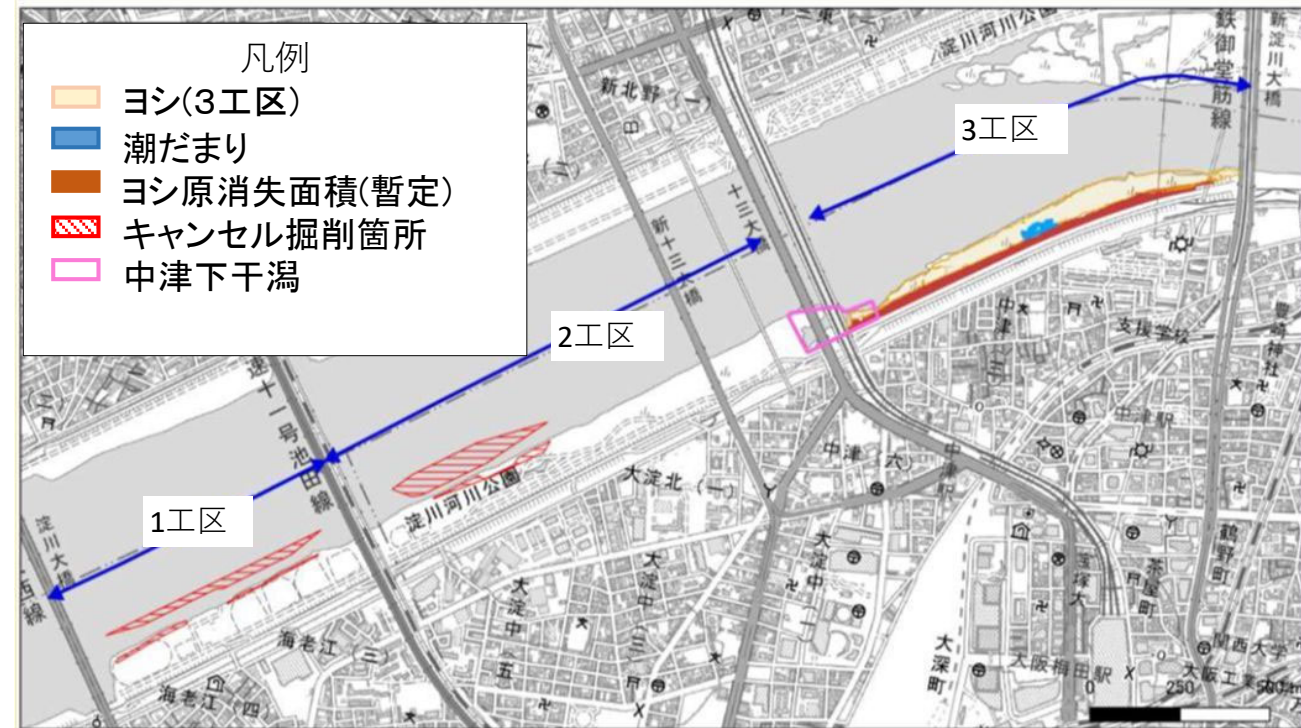


淀川左岸線事業WG(左岸線2期事業)からの報告

- 令和5年度に淀川左岸線(2期)事業WGから中津ヨシ原のヨシの保全状況を報告した。
- ヨシの保全状況については、令和7年度(1工区)及び令和8年度(2工区)に改めて報告する予定である。
- 淀川左岸線(2期)事業においては、ヨシだけでなく、シオクグ等の希少植物の保全も行っており、本移植まで希少植物を保全していく必要がある。現在のところ、大阪市立長居植物園、北区豊崎に希少植物を仮移植している。また、大阪市立自然史博物館に希少植物の種子を保管している。

●現在の希少植物の生育状況、保管している種子の経過年数等を踏まえ、以下の計画書を作成した。

- ・長居植物園における貴重植物の植替え計画
シオクグ、カモノハシ、ミコシガヤの3種について、土を入れ替えたプランターに植え替えること
- ・種子更新・播種計画
シオクグ、カモノハシ、ミコシガヤ、オガルカヤの新たな種子採取 及び、オガルカヤ、カモノハシの種子を播種すること



淀川左岸線事業WG(左岸線2期事業)からの報告

植物園における貴重植物の植替え

- 生育状況に応じてシオクグ、カモノハシ、ミコシガヤの3種について植替えを実施することとした。

●仮移植地の植物園におけるシオクグ、カモノハシ、ミコシガヤの状況(令和6年7月30日)



シオクグ



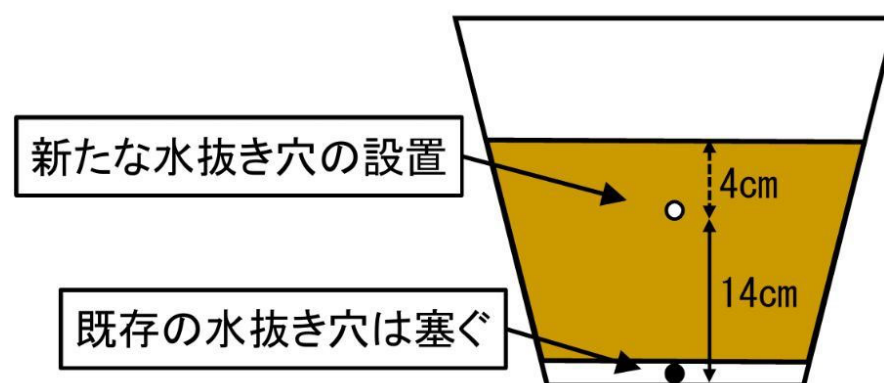
カモノハシ



シオクグ・ミコシガヤ

※シオクグ、カモノハシ、ミコシガヤをR1～R2年頃に植物園へ仮移植した。

●仮移植地におけるシオクグ、カモノハシ、ミコシガヤの植替え



- ・地上部が枯れる11月以降(冬季)に植替えを実施した。
- ・平成30～令和元年度の育苗実験では、湿潤条件での生育状況が良好であったことから、湿潤条件となるよう令和5年度に改良したプランターを使用した(左の図)。
- ・植替え土は、過年度の育苗実験とこれまでの維持管理において生育実績のある園芸用培養土(花・野菜用)を主として用いた。ただし、水抜き穴の改良に伴い、プランター内部の水循環が悪化し、土壌の嫌気化、根腐れが発生する可能性があることから、軽石等の多孔質素材を混合し、通水性、排水性を改良した培養土を使用した。
- ・枯れた地上部は剪定のうえ、株毎に古い根や土を取り除き、新しい培養土を敷き詰めたプランターに植替えた。過密となることを防ぐため、各種の生育状況を踏まえ、シオクグはプランターあたり30～50株程度、ミコシガヤ、カモノハシは3～5株程度となるよう調整した。なお、植替え時には他種のプランターに逸出した生育株の集約も併せて実施した。

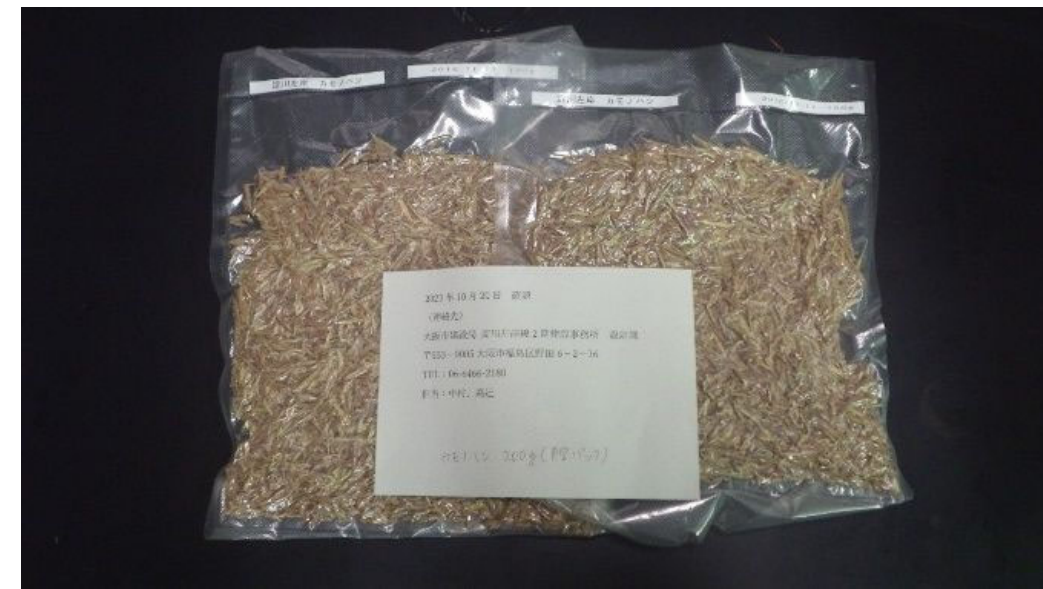
淀川左岸線事業WG(左岸線2期事業)からの報告 オガルカヤ、カモノハシの播種等について

- 現在、カモノハシとオガルカヤの植物個体が不足しており、事業期間の延伸(令和8年度から令和14年度)も踏まえて、オガルカヤ、カモノハシのそれぞれの種子を用いて播種を行うこととした。

●冷蔵保存している種子(左:オガルカヤ 右:カモノハシ)



オガルカヤ



カモノハシ

●オガルカヤ、カモノハシの播種

- オガルカヤの種子を用いて令和6年度に播種を行った。
- ・保存しているオガルカヤの種子および現場近くの仮移植地で採取したオガルカヤの種子を播種した。
 - ・播種時期は、オガルカヤの結実時期で、種子が自然に散布される時期である11月とした。
 - ・オガルカヤの種子は、地表にばら撒き、軽く踏みつけた。播種した範囲は杭とテープなどで目印をつけた。
 - ・播種直後に、種子と土をなじませるため水やりを行った。

- カモノハシの種子を用いて令和7年度に播種を行う。
- ・植物園のプランターから令和6年度に採取した種子を播種する。
 - ・播種時期はカモノハシの結実時期で、種子が自然に散布される時期である10～11月とする。
 - ・1つのプランターに園芸用培養土を入れ、少量の土と種子を混ぜた後、表面にまき出す方法で播種を行う。
 - ・また、プランターについては、湿潤条件(土壌表面から4cm下に水位)となるようトロ舟にプランターを設置し、腰水状態で管理する。

